

## 令和4年10月18日亀岡市教育委員会会議録

- 1 開会 午後2時00分  
閉会 午後3時16分

### 2 出席委員

神 先 宏 彰	教育長
北 村 真 也	教育長職務代理者
末 永 礼 子	委 員
出 藏 裕 子	委 員
福 嶋 百合子	委 員
陀 安 一 郎	委 員
秋 山 伸 夫	委 員

### 3 欠席委員

なし

### 4 出席事務局職員

片 山 久仁彦	教育部長兼文化資料館長事務取扱
久 保 日出樹	次長兼総括指導主事
岡 田 康 宏	教育総務課長
内 藤 一 彦	学校教育課長
樋 口 竜 次	社会教育課長
山 崎 浩 久	社会教育課人権教育担当課長
岩 崎 盛 雄	歴史文化財課長
桂 和 裕	学校給食センター所長
谷 仁 志	図書館長
谷 口 正 二	みらい教育リサーチセンター所長
阿比留 綾	教育総務課副課長兼総務係長事務取扱

### 5 傍聴者

なし

### 6 議事の概要

#### (1) 開会

○教育長が開会を宣言。

(2) 前回会議録の承認

令和4年9月29日に開催した定例会の会議録を承認した。

(3) 教育長からの報告

○教育長から以下の報告があった。

◎亀岡市関係

- ・令和4年秋の全国交通安全運動に係る街頭啓発活動に参加、加塚交差点において交通安全啓発活動を行った。
- ・令和4年度亀岡市教育委員会委員と幼稚園長、小学校長、中学校長の懇談会を開催し、教職員の働き方改革に係る取組について懇談した。
- ・西部地域ブロックとの意見交換会に出席し、西部4町自治会と学校規模適正化や西部地域の活性化策等について意見交換した。
- ・校園長会議において、教職員の働き方改革や学校行事のあり方等について指示した。
- ・学校規模適正化に係る育親中学校ブロック協議会を開催、亀岡市立小学校設置条例等の一部改正が亀岡市議会定例会9月議会において議決され、義務教育学校育親学園を設置することが決定したことを報告した。また、今後のスケジュール等について説明した。
- ・「第29回花づくりコンクール」授賞式に出席、市長賞に詳徳中学校、他市内各校、園が各賞を受賞した。
- ・令和4年度第2回自治委員会議に出席した。

◎国・府等の関係

- ・第63回京都府人権教育研究大会が開催され出席した。
- ・令和4年度口丹波中学校総合体育大会駅伝競走の部が開催され出席した。女子の部で東輝中学校が優勝、男子の部で東輝中学校が2位となった。6位までに入賞した学校が、11月に開催される京都府大会に出場する。
- ・令和4年度近畿都市教育長協議会研究協議会が奈良県奈良市で開催され出席し、中学校の部活動の地域移行等について協議した。

(4) 報告事項

- ①亀岡市立の小学校、中学校及び義務教育学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部改正について
- ②亀岡市立学校記念事業補助金交付要綱の制定について
- ③学校安全対策事業について
- ④学校規模適正化について
- ⑤亀岡市人権教育に関する教職員の意識調査結果報告について
- ⑥第40回亀岡市女性集会について
- ⑦第6回かめおかつこ夢・未来読書フェスティバル（長谷川義史絵本ライブ）の開催について
- ⑧令和4年度人型ロボット（Pepper）活用事業の進捗状況について

## ⑨サイエンスフェスタ 2022 について

○各課長等からの報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

< 亀岡市立学校記念事業補助金交付要綱の制定について >

末 永 委 員 創立を記念して実施する周年事業及び閉校記念事業が対象となっているが、令和6年4月に開校する育親学園も対象として検討する必要があるのではないか。

陀 安 委 員 創立を記念して実施する事業とあるが、周年には開校も含んで想定しているのか。

教育総務課長 今年度は創立150周年を迎える学校及び閉校する学校を想定している。今後、開校も対象と出来るよう整理、検討していく。

< 学校安全対策事業について >

出 藏 委 員 学校安全対策協力員には学校の安全確保のため、長くお世話になっていることに感謝している。また、その感謝の気持ちを感謝状という形で表すことも良い取組である。また、亀岡ロータリークラブから学校安全対策協力員が着用する安全ベスト等の寄贈申出があったと報告があったが、その趣旨にもあるように、10名が死傷した10年前の悲しい事故を今後も風化させないように協力していきたい。

末 永 委 員 学校安全対策協力員は、天候に関わらず子どもたちの安全確保のために日々御尽力をいただいております、その功績を称えるための今回の取組は、本当に良いものであると評価している。

< 学校規模適正化について >

福 嶋 委 員 学校規模適正化の取組について、丁寧に進めていただいていることに感謝しており、別院中学校の南桑中学校への編入に関しても、地元で安心感が生まれるのではないかと。

また、育親中学校ブロックにおいても同様であるが、令和6年4月以降の小学校の跡地利用や放課後児童会がどうなるのかといった声を聞くことがある。今後も検討状況等について積極的に住民に周知いただきたい。

教育総務課長 学校施設の跡地利用に関しては、今後、育親学園の開校に向けた調整会議やブロック協議会などでも検討していくことになるが、進捗状況については、適宜周知していきたいと考えている。

社会教育課長 放課後児童会の開設方法についても、地元の意見等を聞きながら検討を進めていく予定であるが、状況は積極的に知らせていく。

< 亀岡市人権教育に関する教職員の意識調査結果報告について >

末永委員 調査をするだけで満足し、実際に結果をフィードバックすることなく終わってしまうことがあるが、今回の調査結果の分析を教職員の人権意識の向上に結び付けていく取組は、たいへん重要である。

学校ではヤングケアラーやLGBTQ+など、課題は多様化してきているが、今回の調査結果で得た「人権意識よりも知識に重きを置きがち」といった課題点など、それらの結果をもってしっかりと学校に働きかけていただきたい。

北村職務代理者 人権に関する知識を感覚に結び付けていくことは、たいへん難しい。今回の結果を踏まえ、学校で研修等に取り組むよう働きかけるうえで、具体的なプログラムなどはあるのか。

教育部次長 特に若年層の教職員に対して、同和問題やLGBTQ+の問題について、実際に当事者の話を聞くといった研修方法がその一つとして考えられる。また、実際に教職員が人権教育を実践することが自身の感覚に結び付けていくうえで重要であると考えている。

< 第40回亀岡市女性集会について >

出藏委員 コロナ禍においても、感染対策を考慮したうえで、市民が集い人権について考える機会を設けることは、たいへん意義がある。

< 第6回かめおかつこ夢・未来読書フェスティバル（長谷川義史絵本ライブ）の開催について >

福嶋委員 今回絵本ライブをされる長谷川義史さんは、あらゆる年代に人気がある作家で、実際に絵本や書物を手に取って見てもらう良い機会となる。今後もこのような取組を通じて、市民に図書館に来館いただき、実際に本に親しんでいただけるよう取組んでいただきたい。

末永委員 人気がある作家であるため、当日受付の先着順で500人という定員であるが、500人を超えた時の対応についても検討しておくべきではないか。

図書館長 過去の実績から十分な定員であると考えているが、当日の状況を見て柔軟に対応したい。

- 北村職務代理者 チラシに令和4年度亀岡市コミュニティ助成事業、第6回かめおっこ夢・未来読書フェスティバルと併記されているが関係について説明いただきたい。
- 図書館長 今回の読書フェスティバルは、財源として一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業の青少年健全育成助成事業として補助決定を受けたが、事業内容自体は従来までの読書フェスティバルであることに変わりはない。
- 秋山委員 来場者が多数となることが想定されるのであれば、会場の問題もあるが、駐車場等の安全対策も重要であるので検討いただきたい。

(5) その他

- オンラインで参加した陀安一郎委員については、亀岡市教育委員会会議規則に基づき出席したものとみなす。

(6) 閉会

- 教育長が閉会を宣言

以 上